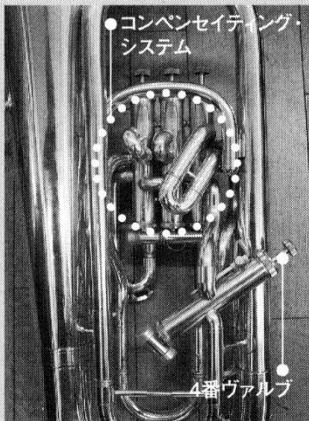


チューバでB-durの音階を吹いたとき低いレの音を1-3で吹くと高くなってしまいが、唇が緩んで低くなっていることがあるから要注意!

低いレの音はできるだけ4番ヴァルヴを押して吹きましょう。手の小さい人は指が届きにくいかもしれないけど、無理のない範囲で

**サ** ● そうなんじゃ。ホルンなら右手の調節で直すことができるけど、チューバやユーフォニアムはベルに手を入れるわけにはいかなから簡単に直すことはできない。では、どうすればいいと思う?  
**ヨ** ● うーん……わかった! 2つ押すと高くなるんだから、

## ユーフォニアムのこれはナニ?



ユーフォニアムには「コンペンセーティング・システム」という機構を搭載したモデルがあって、「補正ピッチシステム」と呼ばれることがあるが、残念ながら1-3を押しても高い音程は修正されない。このメカは、4番ヴァルヴを押してさらにもう1つヴァルヴを押したときに高くなるのを修正するシステムなのだ。写真はこのメカを搭載した楽器の裏側であるが、ピストンの裏側に補正用の迂回管が付いていることがおわかりいただけるだろう。

# Q

高校からチューバを担当しています。ピストン3本で音階が吹けるのに、なぜ4本あるのですか? (秋田・低音吹き)



トリガーを付けたいんじゃないの?

**サ** ● この質問の答えは、さっきのトランペットでトリガーを抜く理由がわかればわかるはずじゃ。チューバもトランペットと同様、ヴァルヴ(ピストン)を2つ以上押すと高くなってしまふのじゃ。  
**ヨ** ● トランペットと同じ原理ね。だったらチューバもトリガーを付けて抜けばいいんじゃないの?

**サ** ● までまで。そんな簡単にはいかなのじゃ。さっきの質問のとき、管の長さが長くなると迂回管の長さも長くなると言ったじゃ。B管チューバの全長はトランペットの4倍あるから、迂回管の長さも4倍になるし、仮にトリガーを付けたとしても、トランペットの4倍の長さを抜かなければいけないのじゃよ。  
**ヨ** ● 4倍も!? 曲中で吹きながらそんなに動かせるわけないわね。でも、それくらい抜かなければ高くなってしまふんじゃないの?

**サ** ● ご明答! さすがヨコタ女史じゃ。4本ヴァルヴが付いているチューバの4つ目のヴァルヴは、1番ヴァルヴと3番ヴァルヴを押して補正したときと同じ長さになっている。だから、低いCの音が高くないというわけ。  
**ヨ** ● トランペットでトリガーを抜いて吹く低いCの音は、



トランペットの4倍の長さを抜かなければいけないから4番ヴァルヴがあるのじゃ

チューバの場合、4番ヴァルヴ1つ押すだけで出るから高くないというわけね。それでチューバやユーフォニアムにはヴァルヴが4つ付いている楽器があるんだ。でも、学校には3本しかヴァルヴが付いていない楽器も多いわよね? そういう楽器を使っている子はどうすればいいの?  
**サ** ● そこが問題なのじゃ。唇で調節するしかないんじゃないけど、それでもかなり高くなってしまうからのう。そこで、もしも曲のなかで3番ヴァルヴを単独で使わないのだったら、あらかじめ3番ヴァルヴの抜き差し管をかなり抜いておくという方法がいいかもしれん。そうすれば、1番と3番、2番と3番、1番2番3番を押したときの音が低くなるから、合わせやすくなるはずじゃ。ただし、3番管を抜いたとき椅子にぶつからないように気をつけるのじゃよ。  
**ヨ** ● 次回は私が木管の悩みに答える番ね。お楽しみに♥

## 楽器の疑問や悩みを募集!

このコーナーでは、楽器に関する素朴な疑問、悩みを受け付けています。

- ① 担当している楽器 ② 使用楽器のモデル名 ③ 疑問・悩み
- ④ 年齢・氏名(ペンネーム可)を

メールでお送りください。

✉ [gakki\\_seminar@ongakunotomo.co.jp](mailto:gakki_seminar@ongakunotomo.co.jp)